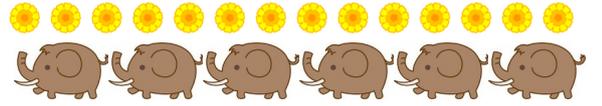


～栄光の架け橋～ (特集:第44回全国中学校スピードスケート大会/最終版)

全国大会～皆頑張りました!～



2月3日(土)～6日(火)にかけて、長野市オリンピック記念アリーナ(通称:M-Wave)にて、第44回全国中学校スピードスケート大会が開催されました。本校より、4名の生徒が出場し、以下の成績を収めました。

大会本番で自分の力を発揮することが、いかに難しいことなのかを痛感しました。それぞれの選手にとって次のステップにつながる良い経験となりました。本当にお疲れ様でした。

1年生島田さんは1000m～1分28秒01(第21位)、1500m～2分14秒97(第21位)

2年生長田さんは500m～40秒96(25位)、1000m～1分22秒71(第35位)

2年生黒坂さんは1500m～2分10秒55(第7位)、3000m～4分42秒48(第9位)

3年生小原さんは500m～42秒45(第10位)、1000m～1分25秒54(第11位)

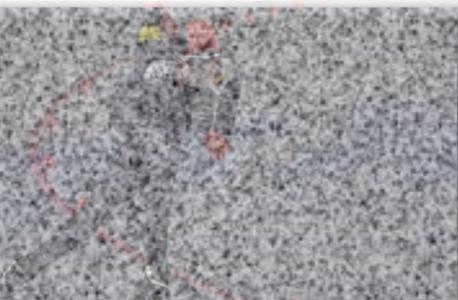
【飛行機の中でハイチーズ】

多くの選手が自己新記録を更新しました。1・2年生は、今から来年の活躍が楽しみです。

小原さん。中学3年間のスケート生活、本当にお疲れ様でした。高校での更なる活躍を期待しています。



1500m～7位入賞



【隙間の時間で善光寺へ】

3月行事予定

1日(金) 生徒会役員選挙・生徒総会

5日(火) 公立高校一般学力検査

6日(水) 年度計画分掌・学年会議

⇒5時間授業(～7日)

8日(金) 性教育講演会(兼 PTA研修)

11日(月) 3年生を送る会

同窓会入会式

13日(水) 職員会議(年度計画会議)

15日(金) 卒業証書授与式

15日(金) 私立高校合格発表

18日(月) 公立高校合格発表

19日(火) まくべつ教育の日

職員会議(年度計画会議)

21日(木) 大掃除

22日(金) 修了式 離任式

23日(土) 学年末・始休業(～4月7日)

海外派遣事業(～29日)



しばざくら

- 【教育目標】 「心豊かに たくましく 生きぬく生徒」
- 自ら学ぶ生徒
 - 人を思いやる生徒
 - チャレンジする生徒
 - ふるさとを愛する生徒



節分～「雪中豆まき」
皆で楽しく、『鬼は外…福は内…！』

教育の意味や必要性について～ウェルビーイングを目指して

校長 白井 将之



小中合同PTA研修会の様子「睡眠の必要性」について

早いもので令和5年度も残り1ヶ月程度となりました。例年になく暖かい日々が続く、春の準備も少しばかり早くなっているようにも、農家さんから伺っております。学校も新年度に向けて、各種準備が始まっています。3年生は受験。1・2年生も一つ学年が上がることを見据えた学習活動に取り組んでいます。

さて、「教育」の意味や必要性を改めて考えた時、子どもの教育に携わる者として、その尊さを日々痛感しているところです。単に学校教育という枠組みだけではなく、「社会教育」「家庭教育」を含めた、生涯学習が人々の心や人生を豊かで充実したものにする。いわゆる「ウェルビーイングの実現」として大いに期待されるところです。また、持続可能な地域づくりや民間企業の存続も含め、「人材育成」は、これからの人口減少や予測不可能な社会を生き抜いていく上で重要な要素・観点ともなっています。

このような現在の社会的な情勢を考えた時、学校がこれからの社会を生き抜いていく上でどのような力を子どもに身につけ、どのような学びを提供するかは極めて重要となってきます。一昔前の教職員がもっている専門的な知識や技能を定着する時代から脱却し、子どもたちの興味・関心のある課題設定から、自分たちで探究的な学びを進め、異なる他者と協働的に物事を考えていく学習をコーディネートする役割へと教師も変わりつつあります。知識の定着は、必ずしも、学校で行わなくても、家庭でも行えます。一方で、様々な他者の価値観に触れることや情報を扱い深掘りすること、体験的な学びの提供、「学び方」を支援(サポート)し、学習をロジック的に組み立てていくことは学校でしかできない学びかもしれません。学校が子どもの学びを「ファシリテート」「コーディネート」する学びの支援者としてどのように導くかは大きな課題でもあります。合わせてICTを効果的な学習の手段の一つとしていかに活用するかも、学校のこれからのテーマの一つでもあります。そして何よりも大切なことは、地域住民より、子どもの教育に携わる代理人として付託されている学校が地域の教育資源や地域住民のお力添えをいただきながら、子どもを真ん中に地域や保護者の皆様の願いが込められた「目指す子ども像」に向けて、皆様方と学校が連携・協働し、「社会に開かれた教育課程(教育活動)」を具現化することが大切です。今後も、地域住民にとって、「開かれた学校」「身近な学校(施設)」「共に学べる学校(施設)」を目指したいと思います。

新入生体験入学～小学6年生来校

1月26日（金）に、来年度から忠類中学校に入学予定13名の児童の皆さんが体験入学として来校しました。小中一貫事業として、何度か本校に来校はしているものの、いよいよ、来春からの中学生としての生活を意識して、当日は、朝から、本校に登校しました。朝学活から始まり、授業時間50分を経験し、実際に、中学校の先生による授業を受けました。3時間目には社会科の授業。4時間目には英語。そして、5時間目には理科。教科によって教える先生が変わり、来年度からお互いに一緒に生活をする先生と生徒との出会いは、授業内容と合わせ貴重な時間となりました。

その後、保護者にも来校いただき、体育館にて新入学説明会が開催されました。中学校での学習や生活のことを各担当者から詳しく説明をさせていただきました。また、中学校入学と合わせ、携帯やタブレット等の所持や利用時間が増え、ネットトラブルに巻き込まれる事案も多く発生することから、忠類駐在所長の上野さんより、フィルタリングの必要性等に関するご講話をいただきました。

最後には、生徒会により中学校行事と制服紹介、部活動紹介が行われ、とても和やかな雰囲気でした。来年度入学される、児童・保護者の皆さんが、少しでも安心して4月をむかえることができれば幸いです。



2年生『地域活性化案（中間発表）』

2月20日（火）に2年生の総合的な学習による「地域活性化案」中間発表会が開催されました。3年間の体系的な学びの一貫として、2年次には、本町と他市町村のまちづくりを比較検証するなどして、一人一人が「地域活性化案」を作成することを目標としております。その目標の過程で、宿泊学習を兼ねて、土幌町のまちづくりを体験的に学んできました。更には、「深掘学習」として、地域の各種事業所を訪問し、調査取材を行いました。生徒は、自分たちで感じた地域の課題や魅力を踏まえながら、子どもたちの視点で「地域活性化案」を作成していきました。限られた時間の中で、インターネットやこれまで体験してきたことなどを踏まえながら、現段階の構想を地域の皆様に足をお運びいただき、今後の「学び方（調査の仕方）」や「内容に関する深め方」等、様々な視点からご示唆をいただきましたことは、我々教職員にとっても大いに参考になるものでした。

現段階の発表内容は、構想段階であり、今後、修学旅行等で更なるフィールドワーク（調査探究）を行い、子ども自身の課題を電話取材や他市町村アンケート等、この度ご示唆いただきましたご助言やアイデアを生かしながら、来年度、子どもたちと共に、更なる課題探究を行い、新たな気づきや発見が得られるよう、調べ方等も含め、更なる学習を深めてまいりたいと思います。

改めて、総合的な学習のねらいは、これからの予測不可能なこれからの時代を生きぬいていく子どもたちに、これから直面するであろう様々な課題に対し、探究的に物事を考える力や新たな価値や意味を見出す「学び方を学ぶ」その過程を大切にすることを目的としています。今後とも、ちゅうるい学園の目指す子ども像である「自ら学ぶ」「人を思いやる」「チャレンジする」「ふるさとを愛する」の4つを目指していきたいと思います。

お忙しい中、ご参集いただきました地域・保護者の皆様方に感謝申し上げます。今後とも、子どもたちを真ん中に、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちが健やかに、そして、逞しく成長できるようお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。



第41回忠類ナウマン全道そり大会 出場！！

2月18日(日)に第41回目となる「忠類ナウマン全道そり大会」が開催され、本校の1年生が出場しました。本年度で3回目の出場です。長年、地域の皆様が大切にしてきたイベントを子どもたちが体験することは大きな意味があります。

本校では、「ふるさと・キャリア教育」を総合的な学習に位置づけ、3年間の系統的な学びを実践しています。特に、1年生段階では、ふるさとの産業や文化等を体験活動を土台にしなが、地域の皆様と出会い、そして、体感することで、改めて、地域の魅力や課題等を再確認する学習をねらいとしています。

そのようなねらいをもちながら、その一つとして、過日、五十嵐さんに本校に足をお運びいただき、長年、本大会に携わっていらっしゃる運営者側の思いやこれからの夢や希望・期待などを子どもたちにお伝えいただきました。子どもたちは、単なるイベントに参加するだけではなく、運営者の思いや願いを感じ、当日、そのを楽しみながらも、多くの方々の協力を得ることの大切さや続けていくことの苦労や大変さを子どもたちなりに感じてほしいと考えています。

そんな流れの中で、子どもたちのアイデアや発想を活かしなが、そりづくりのテーマや構想を練り、頭の中で設計図をイメージしながら、友達と協力しながら、限られた時間の中で、そりを組み立てていきました。

当日は、苦労して完成させたそりを学校運営協議会長の加藤さんにご協力をいただき、会場まで運搬していただきました。実際に競技がスタートすると、真っ直ぐ滑ることはとても難しいことを体感しました。最後はそりを押すなどして、3体のそりが全て無事にゴールしました。その他、宝探しを企画していただいたり、屋台など、大いに子どもたちは充実した1日を過ごしていました。過去2年、出場した3年生や2年生も応援に駆けつけるなど、この行事への参加が学校としてつながっていることを嬉しく思いました。中学校のそり大会出場に際しまして、お力添えいただきました地域の様々な皆様、そして、保護者の皆様に感謝申し上げます。次年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。



辰年号2024



オイラ魔人Booooo



ネコバスGO



ロッジにランタンを飾ろう！！

1月31日(水)に白銀台スキー場ロッジにて、「スキー場ロッジを飾るランプシェードをつくろう」という企画がありました。この企画は、3年生が総合的な学習の「地域活性化案」で発表したものであり、今回、それが実現したものの一つです。本校からも、5名の生徒が放課後にロッジに行き、ランプシェード作りに挑戦。扇形に切られたクリアファイルにそれぞれでイラストを描きました。駐在所の上野さんとのコラボ作品として、「詐欺撲滅」メッセージのものを作るなどのサプライズもあり、楽しい時間となりました。子どもたちの企画が採用され、地域行事に参加し、これからも地域を盛り上げる住民の一人であることを期待します。

